

丹波市地域福祉計画推進協議会（第3回）

議事録

開催日時	令和7年11月20日（木）午後2時00分開会～午後3時57分閉会
開催場所	ハートフルかすが 大会議室
会長	田中委員
出席者	谷口委員、荻野委員、木田委員、金川委員、澤村委員、尾崎委員、河南委員、大槻委員、十倉委員、田中委員、余田委員、鳴木委員、大木委員（以上13名）
欠席者	池田委員、開田委員、谷口（千）委員、足立委員、西垣委員（以上5名）
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 第4期丹波市地域福祉計画（案）について</p> <p>①前回会議（推進協議会）での意見等に対する反映結果</p> <p>②府内政策会議での意見等に対する反映結果</p> <p>③その他、前回会議からの変更点</p> <p>④重要視点ごとの評価指標の設定</p> <p>(2) パブリックコメントの実施について</p> <p>①計画（案）のパブリックコメント（意見公募）要領</p> <p>②地域支えあいミーティング（仮称）の実施</p> <p>(3) 第5次丹波市社会福祉協議会地域福祉推進計画について</p> <p>(4) 第4期丹波市地域福祉計画等策定スケジュールについて</p> <p>(5) 地域福祉活動における個人情報取扱ガイドライン（中間報告）について</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支えあいミーティング（仮称）</li> <li>・第4回推進協議会</li> </ul> <p>5. 閉会</p>

資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議次第</li><li>・資料①第4期丹波市地域福祉計画 第5次丹波市社会福祉協議会地域福祉推進計画（案）</li><li>・資料①－2 重点視点（重点施策）の評価指標</li><li>・資料②第4期丹波市地域福祉計画（案）に対するパブリックコメント（意見公募）要領</li><li>・資料②－2 地域支えあいミーティング</li><li>・資料③第4期丹波市地域福祉計画等策定スケジュールについて</li><li>・資料④地域福祉活動における個人情報取扱ガイドライン</li></ul> <p>〔丹波市版〕（素案）</p>
----	--

議　　事　　の　　経　　過	
発　　言　　者	発　　言　　の　　要　　旨
事務局	<p>1. 開会</p> <p>○開会あいさつ</p> <p>まず、会議の公開について。本日の会議は、丹波市自治基本条例に基づき、原則公開とする。また、今回資料には個人情報が含まれていないことから、丹波市地域福祉計画推進協議会運営要領に基づき、全て公開とする。</p> <p>次に会議の録音について。会議録を作成し、市のホームページでも公開予定の為、音声を録音する。また、会議のご発言の際は拳手の上、議長から指名された後、お名前を名乗ってご発言願いたい。</p> <p>次に資料の確認を行う。</p> <p>○資料確認</p> <p>最後に欠席委員について。委員名簿番号3の池田委員、5の開田委員、10の谷口（千）委員、12の足立委員、17の西垣委員の5名から事前に欠席のご連絡を受けている。</p> <p>それでは、以後は次第に基づき進めたい。</p> <p>2. あいさつ</p> <p>○会長よりあいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 第4期丹波市地域福祉計画（案）について</p> <p>①前回会議（推進協議会）での意見等に対する反映結果</p> <p>②庁内政策会議での意見等に対する反映結果</p> <p>③その他、前回会議からの変更点</p> <p>④重要視点ごとの評価指標の設定</p>
会長	協議事項（1）について事務局より説明願いたい。
事務局	○資料①、資料①-2に基づき説明
会長	前回資料からいただいたご意見を踏まえて改善された。特に変更された点は、26ページ以降になる。ご意見はあるか。

事務局	主な変更点としては、26ページ以降の第3期計画の成果について明確に表記している。あと、71ページ「圏域」のイメージ図を追加している。それから、個人情報の具体的な取扱い等について、77ページの【主な取組施策】に追記している。
会長	それぞれ気付いた点で結構なので、ご意見があればお願ひしたい。
委員①	<p>皆さんのご意見が反映されていると思う。ボリュームが多く、一気に読むのは大変だったのが正直な思いである。</p> <p>71ページのイメージ図について気になった。図の横に上から「地区」「自治会」「地域」「圏域」とあるが、「自治会」が先で、「地区」「地域」「圏域」が良いのではないか。というのは、79ページの「支えあい推進体制における各機関の役割」の表では、「個人」「家族、隣保、組、隣近所」の下に「自治会」「地区」「地域」「圏域」となっているので、合わせたほうが良いのではないか。</p>
事務局	ご指摘いただいた71ページの図については、前回計画でも同様の表記をしている。地域福祉計画の中での圏域の捉え方をまず示すということで、最初に25の「地区」を表現した。そこには、地域の自治会が関係する。さらにその繋がりでいくと、もう少し広い範囲で日常生活圏域、さらには大きな3つの圏域という表現にしている。ご指摘の点について、わかりやすく修正を検討したい。
会長	丹波市社会福祉協議会は、圏域の捉え方を71ページの中ほどに「丹波市社協の各支所」としているが、これはよろしいか。
事務局	支所というと、東部・南部・西部の3つになっているので、正確に書くのであれば「各支所・分室」とすると、よりわかりやすいと思う。
副会長	<p>一言でいえば、丹波市はすごく真面目だと思う。25~65ページにそれぞれ細かく挿入されているが、これは巻末で良いのではないか。68ページまで延々と問題点が出てきて、これから流れに到達するまでがやたら長い。ここまで作り込まれているものを組み替えるのは大変だと思うが、可能であれば68ページ以降の各末尾につけてはどうか。これまでの問題点ばかりがあると、これからが見えにくいのではないか。</p> <p>82ページ(2)の「国では~」から始まる文章の4行目「また、~」以降に、意思決定支援の部分が続いている。確かに、国は成年後見制度の利用促進と言っているが、世界的には最後の手段である。まず、意思決定支援をして、それでどうしてもダメだった場合の最後の砦が成年後見制度になる。こ</p>

	<p>これは国連でもコテンパンにやられていて、いつになればこの制度を辞めるのかと言われている。昨年2月から抜本的な見直しがスタートし、早晚、今の成年後見制度はなくなる見込みがある。今あるので書くことは大事だが、成年後見制度ありきではない。まず、意思決定支援にとことん向き合うことが高齢でも障がいでも共通している。これは、前後逆にしたほうが良いのではないか。この文章では、成年後見制度ありきで「また、～」となっているが、何を置いても意思決定支援で、「そのうえで～」としたほうが、国・世界的な流れからも整合が取れるのではないか。【主な取組施策】の中に「権利擁護支援センターの機能強化」とあるが、そこを「～機能強化と意思決定支援の拡充（推進）」とし、まずこれが第一で成年後見制度ではないということを丹波市として見せていくのが良いと思う。</p>
事務局	<p>確かにおっしゃるとおり、4期計画にたどりつくまでにボリュームがあり過ぎる。ご提案いただいた資料として巻末にもっていくのは良いアイデアだと思った。スムーズに4期にたどりつけるように内部で再度検討し、工夫したい。</p> <p>また、権利擁護についても検討したい。</p>
委員②	<p>72ページの右側【重要視点】の2つ目「支えあい・見守りあいによる地域づくりの推進」のところの文言の「に」が抜けているのではないか。</p> <p>あと、私は小学校なので児童・生徒の虐待の問題等、漏れなく取りあげていただいている有難い。</p> <p>本日いただいた指標について。重点視点2の一番下は「～市民の割合」とあるが、他の欄には※1や※2がある。一番下に※印がないが、※1・2どちらなのか。それと、アンケートの対象は市民とあるが、全市民対象なのか。</p>
事務局	<p>まず、72ページについて。確認の上、追記したい。</p> <p>次に指標について。一番下に※印がないとのことだが、今回新たにアンケートを市として実施する予定である。アンケートの対象は自治会長になる。※1のWell-Being指標については、各自治体で行われる全国統一のアンケートで、対象人数までは把握していない。</p>
委員③	<p>老人会の記載があるのは、58ページ④の欄だけになる。今後高齢者が増えていく中で老人会が減っているデータもあり、事実そのとおりである。この文章は抽象的で何も具体的にならない。昨日寄り合いがあり、その中で出た話は、老人会は今まで社会で働いてきて老後を楽しく過ごしたいというのが本音のところである。補助金があるのは良いが、従来の仕組みでは会計チェックが大変で辞める人が多い。60あった老人会が、今は3つしかない。ここまで減少したのに、これまでと同じようなことをしていくは何の解決にもな</p>

	<p>らない。もっと老人会が活動できるような対策を書いてほしい。もう少しチェックを緩くする、または会計が集まって会議する等が必要だと思う。会計を辞める人が増えて老人会がなくなるのが現実である。こんな書き方では何の解決にもならず、絵に描いた餅だと思う。もっと老人会の為にどうすべきかというところまで突っ込んでほしい。自治会も同様である。行政は補助金を出しているという意識が強すぎる。その意識を変えてもらわない限り、ますます老人会も自治会も減少すると思う。</p>
事務局	<p>まず、委員③のご発言についてお断りしておきたい。私は現在福祉部長をしているが、それまでは社会福祉課の課長もしていた。歴代老人会の会長とは様々な協議・議論を重ねて現在に至っている。市は補助金ありきというお話をされた。確かにある程度のチェックは仕方ないが、我々も補助金ありきとは思っていない。できる限り従来の補助も活用していただきながら、いきいきと地域の中で活動していただくことが一番望ましいと考えている。その為に、市としては申請段階から、例えば地元に説明に行き、できるだけ手続きがややこしくならないように、資料もわかりやすく更新してお示ししている。通帳や領収証を市役所にお持ちいただければ、一緒に計算して金額を入れるお手伝いもしている。</p>
委員③	<p>そのことは全部わかった上で話をしている。事実、私は会計を6年している。ただ、年寄りだからきちんと理解していない人もいる。きちんと指導をしてもらわないと気分的に滅入ってしまう人もいる。私は苦痛と思っていないが、もう少し優しくしてもらえないかという声があったので発表させていただいた。</p>
事務局	<p>対応は大きく変えることなく、丁寧な対応を心掛けているので、もしわからないうがあれば是非社会福祉課に問い合わせていただきたい。</p> <p>58ページの表記について。地域福祉計画に具体的なことをどこまで書くか難しいところがある。理念というか方向性、考え方をメインに書く必要がある。来年度、介護保険事業計画と併せて高齢者保健福祉計画が見直しになる。その部門別計画で、もう少し具体的な表記をすることになると考えている。</p>
委員③	<p>15年前に作成した補助金の要綱が、人が減っているのに変わっていないことも納得いかない。段階的に時代に応じた調整をしてほしい。</p>
事務局	<p>老人クラブの補助については各市町の状況も調べている。丹波市は30名以上でないとできないとおっしゃったが、現実は市老連に加盟している場合は16名でも補助対象としている。確かに、市老連に加盟していない場合は16名以上としているが、加盟していない団体まで少ない人数でOKにすると、恐</p>

	らく市老連から外れる団体を促進することになってしまうので、こういう制度にしていると考えている。
委員③	市老連に加盟していなければ2万円である。
事務局	人数の要件について申し上げている。
委員③	市老連に加盟していても16名以上となっている。
会長	全体的な計画の推進もあるので、よろしいか。
事務局	個別の制度については、また別のところでお話しさせていただきたい。
委員④	副会長のご意見とも重複するが、すごく丁寧にまとめられているが読むのが大変で、最初に課題がたくさん出てきて暗い気持ちになる。丹波市の福祉の未来は明るいと思えるような構成になっていない。福祉関係者でもそう思うので、一般市民は読んでくれるのかと思うところがある。68ページの理念をもっと前に出すとか、69ページ、72~74ページの施策体系等、視覚的なものが前にくると、もっと読んでいて楽しくなるのではないか。資料として巻末にもっていくことは賛同する。それと共に、統計も参考資料として巻末にもっていき、まず理念や方向性を出したほうが良いのではないか。
事務局	併せて参考にしたい。
委員⑤	<p>私自身は社会教育士として、学びをとおして地域づくり、人づくりを支える活動をしている。具体的には、丹波市市民活動支援センターを運営している、丹波ひとまち支援機構という中間支援組織のスタッフをしている。その視点から申し上げたい。</p> <p>まず、71ページの圏域のイメージ図の25地区について、果たして市民の方はどの区域のことかわかるのか。例えばここに「自治協議会」という言葉があれば、少しだけイメージしやすいのではないか。本来は小学校区だと思うが、統廃合で必ずしもイコールではなくなってきた。80ページの「支えあい推進会議」はよく耳にするが、ここにも「自治協議会」という言葉が入ると、よりイメージしやすいのではないか。</p> <p>前回83ページに関わることについて、意見書で意見を述べさせていただいた。ほとんど入れていただき感謝申し上げる。市民の方が地域福祉に関わるにあたっては、やはり学びの機会やそこに触れる機会が大事だと考えている。それは行政だけで取り組むことは難しい。我々のような社会教育士や地域ファシリテーターの力も活用しながら、人材不足の中でどう人と人との繋</p>

	<p>がりを作り、そこに関わってもらえるのかが大事だと思っていたので、このように入れていただいて有難い。【主な取組施策】の3番目「住民による地域福祉活動の支援」の1段落目に「住民主体で活動が進められるよう、自治会や丹波市社会福祉協議会、社会福祉法人などの関係機関と連携して支援します。」とある。ここはこれで正しいと思うが、我々中間支援組織も当然住民主体の活動のサポートに入っている。実際に子ども食堂をやってみたいという方のご相談や、がん患者の為のカフェ活動をしたいというご相談があり、そういう支援等もしている。幅広く市民活動や福祉活動の支援をしているので、何かしらここに「中間支援組織」という文言があればと思う。</p> <p>最後に、同じく重点視点4の3つの評価指標は十分良いものだと思いつつも、前段の計画の施策と比較した時に、出口が幅広く捉えきれていないと感じる。幅広く市民がどれくらい関わっているかという取り方ができれば、より前段の具体的な施策と関連して評価指標が設定できるのではないか。</p>
事務局	<p>「中間支援組織」の追記については、再度内部で検討したい。</p> <p>指標の項目について。これは5年計画になるが、安定的に同じように数値が取れるものを指標として採用してきた。ご指摘いただいたことも内部では検討したが、今あげている指標であれば安定的に数値が取れると判断し、調整している。</p>
事務局	<p>71ページと80ページのイメージ図について。おっしゃるとおり、一般的にわかりにくいと思う。80ページでは（小学校区等）と表記しているが、辻褄が合わないので、どういう単位かわかるような表現を検討したい。</p>
委員⑤	<p>検討願いたい。</p> <p>くらし応援隊の協力員になろうと思えば、平日の時間を確保しないと難しい。より若い人が幅広く地域福祉に関わる為に、これだけでない視点で関わる人が増えていることがわかれれば良いと思い、意見させていただいた。検討した結果の指標であれば別にこれで構わないと思う。</p>
副会長	<p>71ページの図は、本来の丹波市の図形ではない。次のページに丹波市の白地図を入れて示すと、見た人はわかりやすく、我が事になってくるのではないか。それと、各柱の最後に1ページ割いて柱ごとの特徴的な活動の写真等を入れると視覚的に良いのではないか。国や県もそういうことを意識している。文字ではわかりにくいが、写真等を入れるとわかりやすい。参考にしてほしい。</p>
事務局	<p>参考にしたい。</p>

	<p>(2) パブリックコメントの実施について</p> <p>①計画（案）のパブリックコメント（意見公募）要領</p> <p>②地域支えあいミーティング（仮称）の実施</p>
事務局	○資料②、資料②-2に基づき説明
会長	ただいまの説明について、ご質問はあるか。
委員⑤	<p>我々も、他の計画のパブリックコメントを書いてみようという会をしている。あと、私自身も別の行政計画の委員をしている中で、パブリックコメントを書く際に公表するかどうかを選択できるようになっているが、これをしないと名前が出るのではないかと誤解されていると思うことが何度かあった。大前提として、個人情報は公表しないという部分をもう少し強調すると、意見内容の公表を希望しないにチェックする人が減るのではないか。そこにチェックされてしまうと、市民には公開されない為、後から記録が出た時にどんなご意見があったか見えなくなる。ご本人にも意見に対する回答は直接されないと思うので、行政側の回答も届かないことになり、せっかく意見を書いたのに残念なことになってしまう。改めて書式を作成する際に、個人情報は出ないことをもっと上段に記載すると良いのではないか。これは感覚なので実際のことはわからないが検討願いたい。</p> <p>もう一点、パブリックコメントの期間中に実施される地域支えあいミーティングについて。具体的にどんな方に参加してほしいかを踏まえて、地域支えあいについて興味関心がある方と言われると難しい。もう少し対象者のニュアンスが伝わるような表現があれば良いと思う。</p>
事務局	<p>誤解のないようにもう少しわかりやすく修正したい。</p> <p>対象の表記についても検討したい。</p>
委員⑦	このミーティングは一回だけなのか。1月21日の19時から20時30分までだが、最近歳のせいか夜に出かけることが難しくなっている。開催場所に行くまでに車で30分程度かかってしまう。ミーティングに行って話したいと思っても、その前の段階でしんどいと思ってしまう。他の行政計画の時も同様に思った。それと「意見交換（テーマ別）」とあるが、どういう内容でどういう形の意見交換をするのか。地域でいろいろな活動をされている人達が行ってみようとなった時に、一回だけで良いのか。回数を増やす意図があるのか、それとも一回だけで今回は終わるのか。
事務局	地域支えあいミーティングについては、対象も併せてわかりやすい内容の記載ができるか検討したい。あと、回数と開催時間帯については、内部でも

	議論があった。ただ、申し訳ないがマンパワー的にも一回が限界である。
副会長	今回の支えあいミーティングは、どちらかといえば計画案に対する意見を聞くと思う。一つ検討してはどうかと思うのは、例えば会場風景をズームやオンラインで繋ぎ、意見のある方はチャットで出してもらうという手法もある。そうなると使える方が限定されてしまうが、来場できないが参加したい方は拾えるかもしれない。サーバーの限界があるので絶対やってほしいというわけではないが、そういう手法もあることをお伝えしておきたい。
事務局	参考にしたい。
	(3) 第5次丹波市社会福祉協議会地域福祉推進計画について
事務局（社協）	○資料①に基づき説明
会長	第4次から比べて、かなり具体的で明確な書きぶりに変わったと思う。ご意見はあるか。
委員④	丹波市内には、社協を含めて18の社会福祉法人があり、地域の公益的な取組をこれからも推進していくところである。107ページ「5 多様な主体とのネットワークを構築し、仕組みづくりを進めます」の中で、「企業等とのネットワーク構築」の次にあげられているのが残念である。企業等とのネットワーク構築よりも社会福祉法人の連携は下なのか。できれば、取組項目13に上げてほしい。 108ページの「取組項目16 災害時の連携体制強化」に、DMA Tについての記載がない。DMA Tも今年度社会福祉法人18法人で研修を受け、来年度あたりに丹波市でも登録し、災害時の連携等をしていくことで、社協主導で進めていただいている。是非、載せていただきたい。
事務局（社協）	107ページの件について。取組項目は重要な順に並んでいるわけではない。13と14を変更することは可能である。
委員④	第三者の方は優先順位で書いていないと常に説明を受けて見るわけではない。パッと見た限りでは、そういうふうに捉えられない方が多いと思う。変更可能であればお願いしたいという強い要望である。
事務局（社協）	前向きに検討したい。 それと、DMA Tについて。様々な取組がある為、107ページの「公益的な取組」の中で進めていきたいと考えている。取組項目16は、社協の事業とし

	ての視点で記載している。ご理解いただきたい。
委員⑤	<p>97ページ第4章の「I 学びの機会をつくり、福祉人材を育成します」に記載されているような取組について学んで高めた方が、社会教育士という称号を得て活動している。社協の職員が社会教育士の称号を得て活動している地域があることも聞いている。対話の場を作ったり、人と人を繋げたりすることが社会教育士の特技でもある。可能であれば、「社会教育士」という言葉をどこかに入れてほしい。</p> <p>同じく97ページにあるボランティア活動の支援については、丹波市市民活動支援センターも窓口になっている。これまでにも我々が窓口になり社協に繋ぐこともあった。ここも可能な範囲で構わないので、丹波市にも市民活動支援センターという市民のボランティア活動を支えるセンター機能があり、そこも連携していることを表記してもらえばと思う。</p>
事務局（社協）	市の計画にも「社会教育士」等の文言もあるので、どこかに盛り込みたい。
委員⑤	市民活動支援センターについてはどうか。
事務局（社協）	そちらも同様に盛り込みたい。
委員⑥	<p>災害でもよく言われる自助・互助・共助・公助は、市民生活には欠かせない言葉だと思うが、最近は「商助」という言葉が使われる。民間企業も地域貢献に力を入れている。災害時もそうだし、地域共生や地域福祉においても、今後は民間企業の力も大きいと思う。107ページの順番は入れ替えていただいて結構だが、これからも企業等とのネットワーク構築が進めていければと考えている。</p> <p>滋賀で生活困窮者の全国交流研修会に参加した。日常生活自立支援事業の新たな事業として、入退院支援や死後事務等、プラスアルファの支援についての話もあった。今の成年後見制度は、極端に言えば一度登録されると亡くなるまで継続されるが、必要に応じた「スポット後見」について厚労省の職員の話もあった。意思決定が本人の状況に応じて変わっていくと感じている。</p> <p>あと、地域の繋がりを大事にしていく為に、医療・福祉・教育・断酒会の方等にお声がけして交流会を開催している。2日ほど前にも開催し、40名ほどが参加した。これまででは丹波市社会福祉協議会の職員が必ず来られていたが、先日は来ていただけなかった。代わりに丹波篠山市社会福祉協議会から3名来ていただけた。是非、丹波市社協の職員にも参加いただきたい。</p>
事務局（社協）	是非また参加させていただきたい。

	<p>新しい日常生活自立支援事業についても触れていただいた。丹波市社協では、今年度身寄りのない高齢者等への支援に関する調査・研究の為、部署を問わずチームを立ち上げ、市役所の担当課と学びに行かせていただいた。今後も市と調整しながら取り組んでいきたい。</p> <p>最近は、企業から地域貢献について逆に声を掛けていただくことも多い。例えば、フードドライブにも少しずつご協力いただける企業が増えている。</p>
	<p>(4) 第4期丹波市地域福祉計画等策定スケジュールについて</p>
事務局	○資料③に基づき説明
会長	委員には、最終できたところでお話しいただけるのか。
事務局	パブリックコメントの内容等を反映したものを、次回2月13日に最終確認いただく予定である。
	<p>(5) 地域福祉活動における個人情報取扱ガイドラインについて</p>
事務局	○資料④に基づき説明
会長	最終的に委員会に報告されるのか。
事務局	この協議会では報告したい。
	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支えあいミーティング（仮称） 令和8年1月21日（水）</li> <li>・第4回推進協議会 令和8年2月13日（金）午後2時～</li> </ul>
会長	他になければ、これで会議を終了したい。 副会長から閉会のあいさつをお願いする。
副会長	○閉会あいさつ
	<p>5. 閉会</p>